

目次

- 2021年度第1回理事会および第1回部門理事会・評議員会合同会議開催……1
- 2021年度 部門総会および定時総会 開催 ……………2
- 新役員一覧 ……………3
- JIMGA表彰受賞者……………4
- JIMGA一体化に向けた取組みの開始について……………5
- 賛助会員—株式会社コムフェイス— ……………6
- 2021年度春のIOMA GC会議開催……………8
- 高圧ガス容器流出防止対策のお願い ……………10
- ウェブサイト掲載お知らせ一覧—2021年4月15日~2021年6月15日掲載— ……11
- 気ままにコラム ……………13

2021年度第1回理事会および第1回部門理事会・評議員会合同会議開催

5月26日、経団連会館で2021年度第1回理事会および第1回部門理事会・評議員会合同会議を開催いたしました。

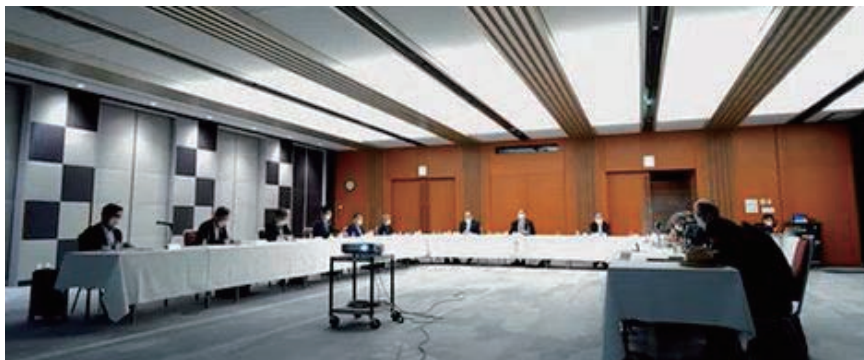
2020年度はコロナ禍のなか、春、秋とも評議員会を中止させていただいており、理事会・評議員会合同会議としては2019年11月27日に開催して以来、実に18か月ぶりの開催です。とはいえ、新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、10都道府県で緊急事態宣言が、8県でまん延防止等重点措置が発令されている状況下、役員、評議員の皆様には一堂に会していただく訳にもいかず、役員の皆様には会場またはwebで、評議員の皆様にはwebでご出席いただくというweb併催とし、理事14名、監事2名、評議員30名の方々にご出席いただきました。

冒頭今井会長より、ニューノーマルに対応する活動のあり方、業界を取り巻く環境、CO₂排出量削減に対するJIMGAの考え方、JIMGA一体化に向けた取組みの概要、2021年度のJIMGA運営方針等についてお話しをいただきました。

その後予定していた8議案の審議に入り、一部ご意見をいただきながらいずれも原案通り承認され、ほぼ定刻に閉会いたしました。webを用いた合同会議の開催は初めての試みでしたが、トラブルもなく会議を進行できたことは今後の会議運営に向け貴重な経験となりました。

厳しい状況の中でご出席いただきました理事、監事、評議員の皆様には感謝を申し上げますと共に、今回の経験を糧とし、今後の会議運営に生かしてまいりますので引き続きよろしくお願いたします。

(運営グループ 事務局 原 浩一)



会議の様子

2021年度 部門総会および定時総会開催

6月9日、経団連会館で2021年度医療ガス部門総会、産業ガス部門総会、定時総会を開催しました。今回も昨年同様、会長記者会見、総会セミナー、表彰式、懇親会は全て中止し、会員の皆様には議決権行使書による議決権行使を広く呼びかけ、会場出席は現役員および新任役員候補者のみに限定しコンパクトな総会といたしました。会員の皆様にはwebでご出席いただけるよう環境を整え、その旨ご案内をいたしました。実際のご出席は若干名であり、周知の方法に課題を残すこととなりました。

会長挨拶

会議の冒頭、今井会長は挨拶で、ウィズコロナに対応するための新たな価値創造の時代において、JIMGAも新たな組織への転換が必要であると述べたうえで、JIMGA一体化について言及しました。具体的には、①部門別から機能別の組織への再編、②評議員制度に代わる本部と地域本部の一体運営の強化、③会員制度・会費制度の見直し、であるとして、特に現在の医療ガス部門の専門性、特殊性、地域性を尊重しつつ、時間をかけて検討したうえで新たな協会運営を進めたいとしました。また、昨年より特に重点的に取り組んでいる風水害の災害対策については、容器流出などが起きないように会員各社へ注意を呼びかけました。

部門総会および定時総会

医療ガス部門総会、産業ガス部門総会では各部門別評議員の選任の件、引き続き開催した定時総会では2020年度事業報告および収支決算案、2021年度事業計画および収支予算案、JIMGA一体化に向けた取組みの開始について、評議員ならびに理事および監事選任の件の4議案を原案通り承認いただきました。その後JIMGA表彰受賞者の紹介、会員の動静、今後の主要行事日程が事務局から報告され、閉会いたしました。

新役員一覧をP3、JIMGA表彰の受賞者一覧をP4に掲載しています。総会議案書は、JIMGAウェブサイトにて会員ログインのうえ下記よりダウンロードが可能です。

定時総会議案書 <https://www.jimga.or.jp/report/sokai/>

(運営グループ 事務局 原 浩一)



会場の様子

新役員一覧

(敬称略・順不同)

代表理事（会長）	今井 康夫	（エア・ウォーター株式会社）
理 事（副会長）	上原 正弘	（太陽日酸株式会社）
理 事（副会長）	鈴木 慶彦	（株式会社鈴木商館）
理 事（副会長）	牧原 康二	（日本エア・リキード合同会社）
理 事（副会長）	田中 正人	（帝人ファーマ株式会社）
理 事（副会長）	岩澤 昌之	（株式会社イワサワ）
理 事（副会長）	南部 淳	（株式会社ナンブ）
理 事（副会長）	大井 常義	（株式会社大和サンソ）
理 事（副会長）	與儀 盛輝	（株式会社オカノ）
理 事（副会長）	堀口 誠	（岩谷産業株式会社）
理 事（副会長）	小池 英夫	（小池酸素工業株式会社）
理 事（副会長）	黒木 幹也	（高压ガス工業株式会社）
理 事（副会長）	玄間 隆之	（東京ガスケミカル株式会社）
理 事（副会長）	多田 進一	（大阪ガスリキッド株式会社）
理 事（副会長）	波多野和彦	（エア・ウォーター炭酸株式会社）
専務理事	加藤 尚嗣	（一般社団法人日本産業・医療ガス協会）
常務理事	瀬戸 昭則	（一般社団法人日本産業・医療ガス協会）
代表監事	平倉 一夫	（昭和電工株式会社）
監 事	池田 悦哉	（東邦アセチレン株式会社）
監 事	鈴木 基雄	（株式会社千代田）

JIMGA表彰受賞者

医療ガス部門

(敬称略・順不同)

保安教育功労賞	岡本 剛 (株式会社イワサワ)
地域活動功労賞	大井 常義 (株式会社大和サンソ)
標準化功労賞	医療ガス製造部会 滅菌ガス技術WG 芳村 健治 (日本液炭株式会社) 丹羽 正武 (株式会社小池メディカル)
業務功労賞	在宅酸素部会 公競規WG 吉川 勝英 (帝人ファーマ株式会社) 加藤 俊康 (エア・ウォーター・メディカル株式会社) 五味 昌浩 (株式会社フィリップス・ジャパン) 芝野 秀直 (日本メガケア株式会社) 力安 佑樹 (フクダライフテック株式会社) 澤瀉 久史 (バイタルエア・ジャパン株式会社)
安全賞	株式会社サイサン 医療ガス部 東京営業所
安全賞	株式会社エア・ガシズ北九州

産業ガス部門

災害功労賞	山田 一雄 (イワタニ福岡ガスセンター株式会社)
標準化功労賞	技術・保安部会 超低温貯槽WG 細谷 公憲 (エア・ウォーター株式会社) 別府 亮彦 (岩谷産業株式会社) 平山 晃生 (太陽日酸株式会社) 石川 敦司 (超低温機器協会 (日本化学機械製造株式会社)) 西岡 達郎 (日本エア・リキード合同会社) 竹田 勝 (株式会社ネリキ)
安全賞	北陸液酸工業株式会社
安全賞	東邦岩手株式会社
安全賞	四国アセチレン工業株式会社 徳島事業所
安全賞	高压ガス工業株式会社 神奈川工場

JIMGA一体化に向けた取組みの開始について

6月9日に開催した定時総会に「JIMGA一体化に向けた取組みの開始について」を上程し、総議決権数987票のところ、議決権行使書623票、会場およびwebでの議決権18票の全て賛成にてご承認をいただきました。

JIMGA一体化に向けた取組みの骨子は

- ・機能別に組織を再編し、一体的・合理的に事業を推進
- ・目的や役割が重複する組織を統廃合し、効率的に事業を推進

であり、JIMGA設立当初からの懸案である組織簡素化、真の一体化の検討を進めていくというものです。

今回のご承認に至る過程では新型コロナウイルス感染が収束しないなか、予定していた各地域本部幹事会、総会等が書面開催に変更されるなどして、会員の皆様に向けたご説明の機会が得られないまま書面のみでご審議をいただくことになってしまいました。

総会決議では非常に多くの賛成票をいただきましたものの、本議案の名称にもございますとおり、今回ご承認いただきましたのは取組みの開始についてであり、現時点ではスタートラインに立った状態です。

本件の重要性に鑑み今後、会員の皆様へ丁寧にご説明を実施して参りますとともに、事業の専門性や特殊性、地域性などに配慮しつつ皆様からのご意見を踏まえて進めてまいりますので何卒ご理解と積極的な関与を賜りますようお願いいたします。

(運営グループ事務局 原 浩一)



賛助会員 —株式会社コムフェイス—

沿革

弊社は、京都市内にてLPガス業界向けの通信機器等を製造販売していた会社より、NCUモデム関連の製造販売権の譲渡を受け平成14年7月に現社長が設立した会社です。

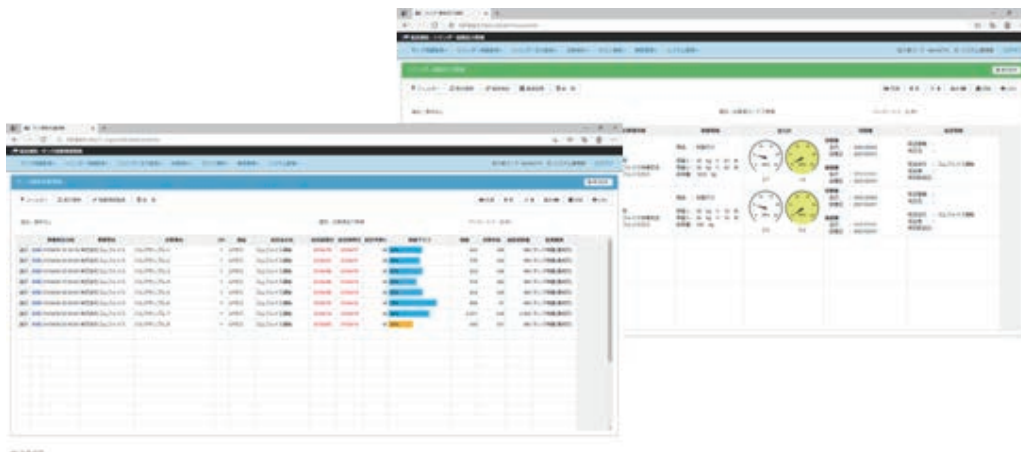
設立時よりハードウェア部門として、LPガスメーターの自動検針業務に必要なPHS回線用NCUモデムの設計・製造・販売、ソフトウェア部門としてNCUモデムを利用したLPガス業界向けの配送効率化ソフトウェア「配送部長」の開発・販売を行っております。

少数精鋭

従業員は4名と少数ですが、各々がハードウェア・ソフトウェア・検査部門で独自のノウハウを持ち、設計から製造まで少人数でまかなっていることを誇りとして日々精進しております。

このような零細企業でもNCUモデムと配送効率化ソフトウェアをシステムとして一社で対応が可能であることから、大手ガス会社様よりCEタンクの残量遠隔監視と効率の良いタンクローリー車の配車計画ができないかとお問い合わせをいただき、担当者様からご指導賜りながら、産業ガス向けの残量集中監視及び配送効率化ソフトウェアであるCEタンク用「配送部長」を完成させました。

パッケージソフトウェアとして開発された「配送部長」もバージョンアップを重ね、現在は初期導入コストが安価で、より多くのお客様にご利用していただきやすい「配送部長クラウド」としてのサービスも提供しております。



「配送部長クラウド」管理画面イメージ

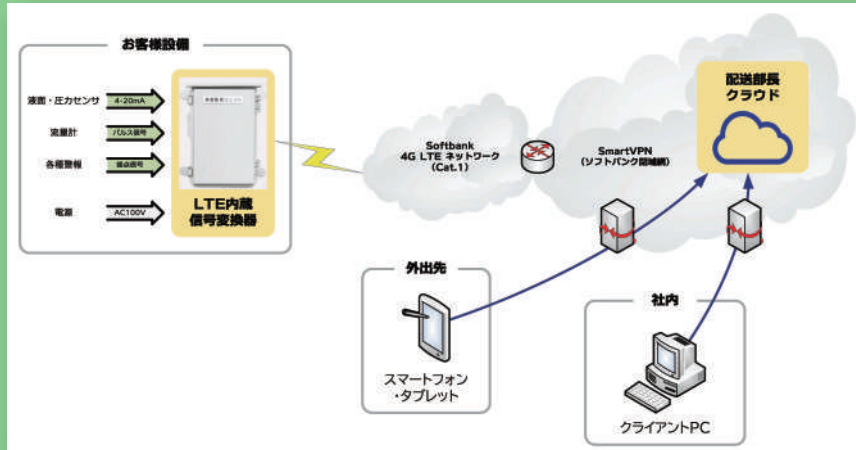
産業ガス業界への貢献

弊社は長年にわたり、公衆無線双方向通信回線を利用した遠隔監視システム構築を行ってまいりました。この経験を活かして、高圧ガス容器内のガス残量やCEタンク内のガス残量が遠隔地で管理できるシステムを構築し現地状況の「見える化」を図ることで、配送用トラックやCEタンク用のローリー車の配送効率化の実現に貢献してまいります。

製品紹介

配送部長クラウド 産業ガス版

1) システム構成図



2) 機能説明

「LTE内蔵監視ユニット」は顧客設備に関連している機器類の稼働状況を一か所にまとめて収集させ、配送部長クラウドと通信するための監視ユニットです。

- * 監視ユニットを経由して配送部長クラウドと双方向で通信ができます。
- * 入力信号としては、圧力/液面センサー、流量計パルス、接点信号等の接続が可能です。
- * 顧客設備の貯槽残量や圧力値を定期的にクラウドに蓄積、残量管理や配送管理を社内PCやスマートフォンからリアルタイムに確認できます。
- * クローズドネットワーク（閉域網）上に構築されておりますので、セキュリティ対策については安心してご利用いただけます。

3) その他

- * 現地の最新残量・圧力等顧客先の必要な情報が遠隔地で監視できます。
- * 残量%をグラフ化して表示、シリンダー圧力をアナログメーター形式で表示できます。
- * 検索、整理機能を利用して様々な用途のリスト作成ができます。
- * 地図上で所在地の確認ができます。
- * 現地の警報受信時には各ご担当者へ緊急連絡ができます。
- * 登録されているスマートフォン・タブレットに警報内容が送信できます。

- その他詳細につきましては下記のホームページまたはメールアドレスへお問合せください。

ホームページ：<http://www.comface.co.jp/>

お問合せメールアドレス：tc-oka@comface.co.jp

(株式会社コムフェイス 技術顧問 岡 誠次)

2021年度春のIOMA GC会議開催

2021年度春のIOMA (International Oxygen Manufacturers Association／国際酸素製造者協会) のGC (Global Committee／国際委員会) が5月7日20時より2時間にわたりWeb形式で行われました。

参加団体および会議の開始

GCメンバーのAir Liquide、Air Products、Air Water、Iwatani、Linde、Messer、NIPPON SANSO HOLDINGSの7社の参加があり、産業ガス協会4協会 (AIGA、EIGA、CGA、JIMGA)、IOMA事務局2名、Whiteford T ayler Preston法律顧問1名、サポート4名の参加がありました。

議長のTodd Skare氏 (Linde) により開会宣言後、定足数確認、独占禁止法遵守宣言、前回会議議事録の承認を行いました。

報告事項

2021年度の国際統合化功労賞にSudhir Phakey氏 (Linde PLC) をGCとして推挙することが決まりました。今年11月3日～7日に開催予定のワシントンDCでのIOMA総会で昨年度受賞したWolfgang Doner氏 (Web開催により授賞式がなかったため) と共に表彰されることが報告されました。

続いて、IHC (International Harmonization Council／国際統合化委員会) の活動進捗が確認され、新規プロジェクトである「可燃性ガス超低温用往復動式ポンプと設置」と「医療ガスピンインデックス接続の割り当てと方法」の活動が開始されることになりました。

中国Yima市のASU事故を教訓にした国際統合化文書の改訂文書については、通常これらの文書を入手できないASU事業所でも入手できるよう、IOMAとして広報活動を行うこととなりました。

また、温室効果ガス排出量の測定基準策定プロジェクトの活動が2月より開始され、炭酸ガスに加え、フロン等の地球温暖化係数の高いガスの排出も算定し、顧客での排出についても検討することが報告されました。GCからは、年末を目標にアウトプットを出すよう指示がありました。

水素プロジェクトに関しては、IOMA、CGA、EIGAより活動報告がありました。水素消費に関する各国の協会とのコラボレーションが確実に行われていることが確認され、EIGAからは、水素の消費に関するe-Learningを4協会の協力を得て作成していることが報告されました。

WHOから提案のあったWHO医療用酸素基準 (>90%酸素) とGMP*の改定案に対する対応については、AIGA、EIGA、およびCGAがWHOへ意見書を提出し、JIMGAは棄権の立場をとることが確認されました。

また、GCおよびIHC活動がGCメンバー7社によって策定されており、GCに参加していないIOMAメンバー (中小企業メンバー) の意見が反映されていないとの問題提起がされました。これについては、次回会議で議論することとなりました。

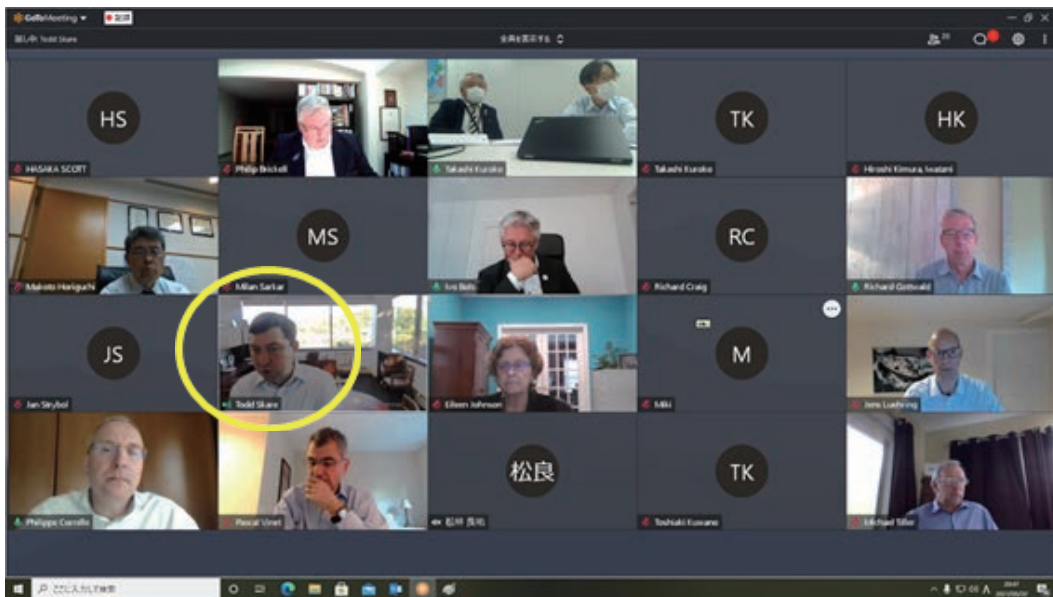
※GMP (Good Manufacturing Practice) : 医薬品の製造管理及び品質管理の基準

COVID-19の状況

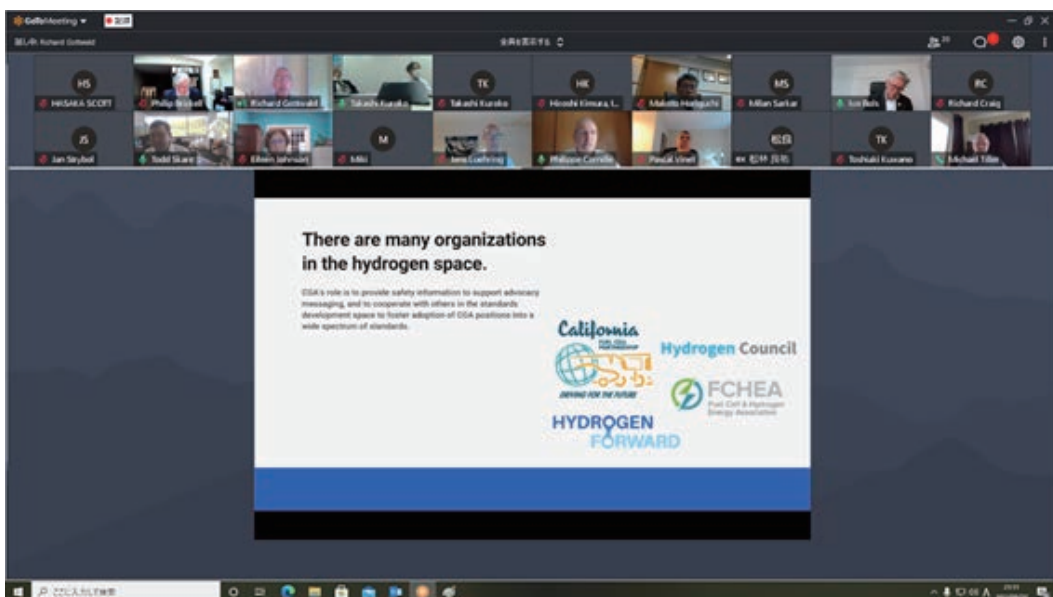
最後に、COVID-19の4協会の状況が報告されました。AIGAからはインドで酸素の供給不足が起きており、国内で増産を行い、友好国から援助を受ける対応をしていることが報告されました。

次回のIOMA総会は11月3～7日にワシントンDCで開催され、GC会議は、11月4日に行われます。ワクチンの投与の進み具合によりますが、面談会議とWeb会議の併用となる予定です。

(国際部会 事務局 羽坂 智)



2021年度春のIOMA GC会議 (5/7) Todd Skare氏 (Linde) の開催挨拶の様子

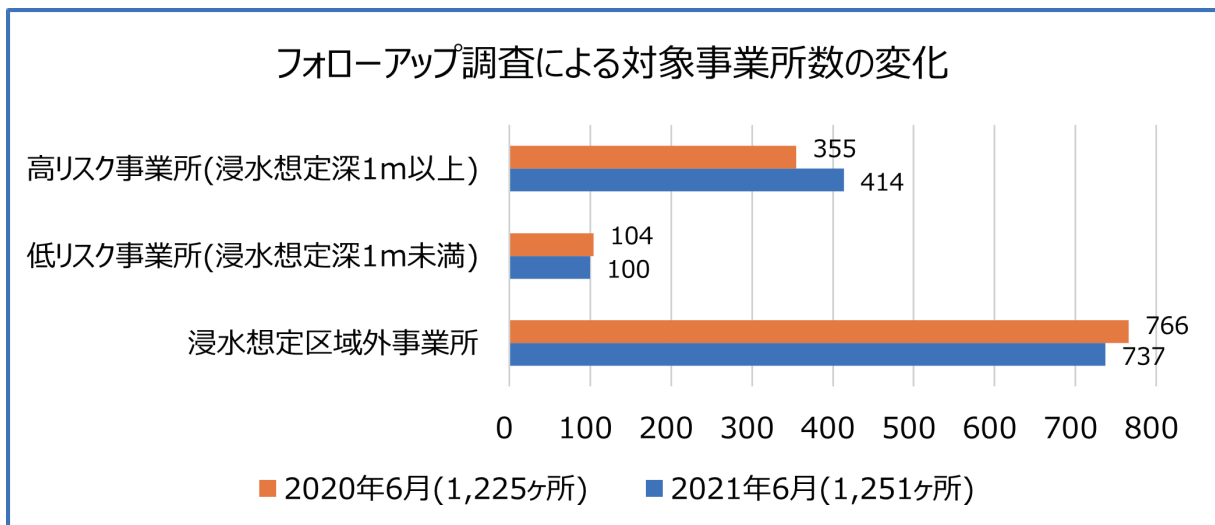


2021年度春のIOMA GC会議 (5/7) 水素プロジェクトのプレゼンテーションの様子

高圧ガス容器流出防止対策のお願い

JIMGAでは、2019年11月～2020年3月にかけて、会員各社の高圧ガス充填工場・貯蔵所において、浸水被害が発生した場合でも容器が流出しないよう対策が取られているかどうか調査させていただきました。ハザードマップによる浸水想定深が1m以上の場合を「高リスク事業所」、同1m未満の場合を「低リスク事業所」、浸水の恐れのない場合を「浸水想定区域外事業所」という3つの区分に分類し、特に高リスク事業所においては、2020年6月までフォローアップ調査を行って、すべての対象事業所で容器流出防止対策が実施/準備完了されていることを確認いたしました。

その後、2021年2月～4月にかけて、低リスク事業所および浸水想定区域外事業所に対し、ハザードマップの再確認のお願いを含むフォローアップ調査を行ったところ、ハザードマップの更新に伴って高リスク事業所となった事業所もありました。グラフは、2020年6月現在と2021年6月現在の対象事業所数の変化を示しています。



これまでのところ、ハザードマップ見直しで高リスク事業所となった事業所も容器流出防止対策は取られているようですが、今後も各事業所において、ハザードマップの確認、容器流出防止対策状況の確認を定期的の実施いただけますようお願いいたします。

今年も6月に入り、雨の多い季節となりました。線状降水帯による集中豪雨等で洪水、河川の氾濫の発生が想定される場合には、JIMGA発行の「高圧ガス充填工場及び貯蔵所の自然災害対策指針」※をお読みいただき、事業所から高圧ガス容器が流出しないよう十分な対策ができていることの確認をお願いいたします。

(災害対策部会 事務局 前田 和也)

※ 今回ご紹介した図書は以下よりご購入が可能です。

<https://www.jimga.or.jp/publication/books/index.php?c=002001&department=1&format=2>

ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2021年4月15日~2021年6月15日掲載—

JIMGAウェブサイトでは、会員の皆様に向けた最新の情報をお知らせページにて掲載しています。2021年4月15日~2021年6月15日までに掲載したお知らせをまとめましたので、URLよりご覧ください。最新のお知らせはこちら→<https://www.jimga.or.jp/news/>



- 2021.06.14 麻酔博物館(神戸) リニューアルオープンに関して
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=985>
- 2021.06.08 第24回日本医療ガス学会学術大会・総会のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=984>
- 2021.06.07 日本薬局方第十八改正について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=983>
- 2021.06.04 夏季の省エネルギーの取組について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=982>
- 2021.05.31 本ウェブサイトで販売する出版物・物品の納品書兼請求書の発行日付に関する変更について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=980>
- 2021.05.27 梅雨期及び台風期における輸送の安全の確保について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=979>
- 2021.05.27 2021年度定時総会招集について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=977>
- 2021.05.26 令和3年度「男女共同参画週間」の実施について(内閣府男女共同参画局)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=978>
- 2021.05.21 NEDOによる水素関連プロジェクトの公募開始
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=976>
- 2021.05.21 事業再構築補助金 — 二次公募が開始されました
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=975>
- 2021.05.19 (要請)2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う警備協力について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=974>

- 2021.05.18 「ものづくり・商業・サービス高度連携促進事業」の公募が開始されました
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=973>
- 2021.05.14 テレワーク等による出勤者数の削減に関する実施状況の公表に関するお願い
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=972>
- 2021.05.12 東京2020大会期間の物流に関するご理解・ご協力をお願い
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=971>
- 2021.05.11 緊急事態宣言の延長を踏まえた職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防及び健康管理について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=970>
- 2021.05.11 「Myじんけん宣言」へのご協力をお願い
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=969>
- 2021.05.10 インド、パキスタン、ネパールからの入国者に対する新たな水際措置
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=968>
- 2021.05.03 再掲：【至急】在日インド大使館からのお願い（酸素機器の緊急供給）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=967>
- 2021.04.30 JIMGAnews 第63号発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=966>
- 2021.04.26 緊急事態宣言の発出を踏まえた感染拡大防止の取組みの徹底をお願い
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=965>
- 2021.04.22 北朝鮮関連の懸念船舶リストの更新について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=963>
- 2021.04.21 令和3年度毒物劇物取扱者試験の実施について(東京都)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=962>
- 2021.04.19 「CE設置事業所・ローリ運行事業所関係基準」発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=961>
- 2021.04.16 「校正用ガス略式刻印（K刻印）に関わる自主基準」発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=960>



気ままに コラム



ゴールデンウィークが緊急事態宣言下となったので、読書でもして過ごそうとブックオフに行ってみた。

高校生の頃にテレビで見ていた「北斗の拳」の全27巻セットが目についた。懐かしいなあと思い、2,000円で買って来た。

1984年3月発売の第1巻は、「199X年世界は核の炎につつまれた」と始まる。冷戦期で世界の核兵器保有数がどんどん増えていった時代背景もあったのだろう。「国際平和拠点ひろしま」ウェブサイトによると、この年は60,000発を超えたあたりのようだ。

最終巻は1989年3月だ。1990年になる前に終わっているところが奥ゆかしい。この年の1月に日本は平成元年になり、世界では11月にベルリンの壁が崩壊、12月には冷戦が終結した。1990年代は湾岸戦争や各国で内戦や紛争があったものの、世界が核の炎につつまれることはなく、世紀末救世主伝説はマンガの世界だけで終わったのだった。

今はもう2021年。これまで大規模な自然災害や、パンデミックに直面してきたものの、まだ第三次世界大戦は始まっていない(はず)。北斗の拳のような荒れ果てた世界になるのは次の

世紀末かもしれない。ん、次の世紀といえは22世紀。ドラえもんが生まれるはずなので、タイムマシンや「どこでもドア」が現実となっているんじゃないか、、、と想像を膨らませたところで、今回は筆をおこう。

(広報担当 岩戸 康人)

